



名寄市立大学図書館ビブリオバトル 2025 開催案内

ビブリオバトルとは、『人を通して本を知る。本を通して人を知る。』をキヤッコピートとし、小学校～社会人まで年齢を問わず楽しめる、本の紹介コミュニケーションゲームです。

本学図書館でも、在学生の交流の場、プレゼンテーションスキルを磨く場として例年開催してきており、今年で第12回目となります。

あなたが大好きな本、衝撃を受けた本、考えさせられた本……。

あなたの胸の内にある「オススメ本」への想いを皆に伝えてみませんか？

5分の発表時間内に、あなたが見つけたその本の魅力をぎゅっと詰め込んでください！

また、出場者だけでなく、観覧者も大募集中です！ビブリオバトルの勝負は出場者・観覧者全員での「どの本が一番読みたくなかったか？」という投票によって決定します。

あなたがまだ出会っていない本・気づいていなかった視点に是非会いに来てください♪



開催要項

【日 時】2025年10月29日(水) 18:30 ~ 19:30

【会 場】名寄市立大学図書館 1階 ラーニング・コモンズ内

プレゼンテーションスペース(名寄市西4条南8丁目1番地)



【参加対象】

出場者：本学在学生

観覧者：条件なし(一般の方も観覧可能です)

【参加 費】

無 料

【その 他】

出場人数によっては、本戦前に予選会を行います。

出場者には特典として Yoroca 行政ポイントが贈呈されます。(ポイントは後日付与となります)



【申込方法】

出場者：案内ポスターまたは当要項右上に掲載のQRコードからお申込みください。
(Microsoft Formsが開きます)

※QRコードが読み込めない場合には、以下のアドレスからお試しください。

<https://forms.office.com/r/6ih2xLLEQg>

観覧者：学内者の観覧については申込不要です。
当日直接会場へお越しください。
一般の方で観覧を希望される方は、観覧希望の旨大学図書館までご連絡ください。
(大学図書館直通：01654-8-7671)

How to ビブリオバトル



1. 発表参加者が自分が読んで面白いと思った本を持って集まる。

- ・他人から推薦された本でも構わないが、必ず発表参加者自身が選ぶこと。
- ・それぞれの開催でテーマを設定してもよい。
- ・参加者は発表参加者、観覧参加者よりなる。参加者全員という場合にはこれらすべてを指す。



2. 順番に一人5分間で本を紹介する。

- ・5分間が経過した時点でタイムアップとし、速やかに発表を終了すること。
- ・発表参加者はレジュメやプレゼン資料の配布などはせず、できるだけライブ感をもって発表すること。
- ・発表参加者は必ず5分間を使いきること。



4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなかったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

- ・発表参加者も投票権を持つ。ただし、自分が紹介した本には投票せず、他の発表参加者の本に投票すること。
- ・チャンプ本は参加者全員の投票によって民主的に選ぶ。一部の参加者(司会者、審査員、教員など)に決定権が偏ってはならない。

『知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト - 公式ルール』(<https://www.bibliobattle.jp/rules>)より引用

展示のお知らせ - 第173回芥川賞・直木賞ノミネート作品 -

第173回芥川賞・直木賞は、両賞ともに『該当なし』と発表される結果となりました。両賞とも該当なしとなったのは1997年の第118回以来、28年ぶり6度目となります。

図書館では、今回最終候補作としてノミネートされた10作品の展示を行っていますので、この機会に是非読み比べて『My芥川賞・直木賞』を選んでみてくださいね！

展示場所：大学図書館2階展示架 展示期間：2025年8月30日(土)～

君はどの作品が気になる？

第173回芥川賞・直木賞 候補作一覧



芥川賞・直木賞創設者
菊池寛

『芥川賞最終候補4作品』



『トラジェクトリー』
グレゴリー・ケズナジャット著
文藝春秋



『痛いほうへ』
向坂くじら著
河出書房新社

『たえまない光の足し算』
日比野コレ著
文藝春秋

『直木賞最終候補6作品』



『ブレイクショットの軌跡』

逢坂冬馬著、早川書房

『乱歩と千畝』
RampoとSempo』
青柳碧人著、新潮社

『嘘と隣人』
芦沢央著、文藝春秋

『『Nの逸脱』』
夏木志朋著、ポプラ社

『逃亡者は北へ向かう』
柚月裕子著、新潮社